

「はるみ」の隔年結果を解消!!

隔年結果性が強い「はるみ」を、毎年安定して収量を確保する技術は次のとおりです。

● せん定方法・着果管理



樹冠上部1/3

せん定は、切り返し中心として、花芽を切除する。もし着果したら、早期（6月中旬に）に全摘果し、強い新梢を発生させる。

樹冠下部2/3

せん定は、間引き中心として、花芽を確保する。摘果は葉果比100となるように着果させる。

● 夏季の乾燥防止

夏季、特に8月に土壌が乾燥すると、細根が枯死する。また、翌年の着花数が極端に減少する。

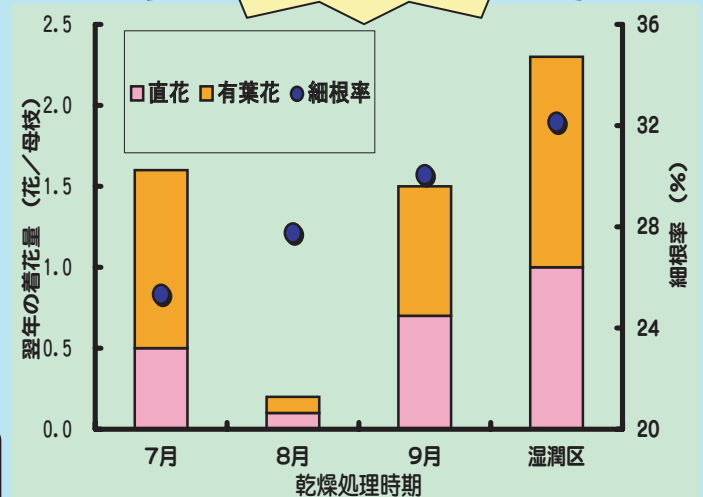


8月乾燥区：8月のみpF2.7に達して5日後に30mmかん水



湿潤区：7~9月はpF2.3で30mmかん水

8月の乾燥には要注意!



10aで約3tが
連年確保でき
ます。

